



やまがたの未来をデザイン（よりよく）する
(デザイン思考を活用し、社会とのつながりの大切さや、やまがたへの愛着を育てるとともに、社会や地域のために自分たちが
できることを考え、行動する力を養う)

私たちの Mission・探究テーマ

紙芝居で伝える新パワースポット「若木神社」

令和6年度 山形県立東桜学館中学校 2年 個人探究

探究の概要：

1 課題設定の動機・背景・目的

新型コロナウイルス感染症の影響により減少した東根市を訪れる観光客数が、5類移行後に増加し始めた。私の地元の神町地区にある若木神社（おさなぎじんじや）は、疫病（感染症）を予防する神様の「牛頭天王（ごずてんのう）」が祀られている。しかし神社の存在は知られていても、どんな神様が祀られているかまでは、市内に住む人々にもあまり知られていない。そこで、市内に住む地域の人々に神社をパワースポットとして紹介することで郷土愛を育み、新たな観光資源として認識してもらおうと考えた。

2 実施したこと

・紙芝居とリーフレットの作成

若木神社は神町公民館と、神社の運営を助ける氏子（うじこ）により管理されている。氏子総代（うじこそうだい）さんに取材し、子ども達に読み聞かせを行うための紙芝居と、地域の人々や観光客用のリーフレットを作成した。

・東桜学館中学校2年生と母校の高崎小学校での紙芝居の読み聞かせ

同級生への読み聞かせとアンケートを実施。高崎小学校の先生方と青空カンガルーさん（絵本や紙芝居の読み聞かせを生徒に行う）にご協力いただき、紙芝居の読み聞かせを小学生に行っていた。

・紙芝居とリーフレットを視聴覚教材コンクールに出品・神町公民館への寄贈

北村山地区自作視聴覚教材コンクールに出品。また、公民館に寄贈し、神町さくらんぼ学童クラブにて読み聞かせを行ってもらうなど広く広報いただいた。

・東根市観光物産協会でのリーフレットの配布

東根市観光物産協会にリーフレットを設置。



紙芝居



リーフレット

3 2の結果

・同級生へのアンケートでは、読み聞かせ後に若木神社を訪れたいと思ってくれた人が多くいた。小学校では「東根にこんなすごい神様がいる神社があることを自慢したい」という感想をいただいた。

・地区のコンクールで入選、紙芝居動画が北村山視聴覚教育センターのYouTubeチャンネルで公開されることになった。公民館への寄贈の様子が山形新聞に掲載された。表彰式でお会いした東根市商工会女性部の方と、新聞を見た神町のいき生きクラブの方が各々の活動で紙芝居を使用してくださることになった。

・観光協会でのリーフレット配布と協会内設置モニターで紙芝居動画が1年間放映されることになった。

4 考察

・若木神社と祀られている牛頭天王について知ってもらうことはできたが、より多くの人々に知ってもらうためには、紙芝居の読み聞かせやリーフレットを配布する機会をもっと増やす必要がある。

5 振り返り

一人で取り組み始めた探究だったが、活動中に出会った人々のご協力に人の心の温かさと地元愛を強く感じることができた。若木神社がパワースポットとして広く知られるよう活動を継続していきたい。